

# ——宇和島市ポータルアプリの開発背景と利用状況について——

株式会社プライサー  
長津 優太

## I. 目的

日本全体で少子高齢化が進む中、愛媛県宇和島市においては全国や県の平均をはるかに上回るスピードで少子高齢化が進んでいる。この課題を解決するためには、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で作る」という意識を持ち、主体的に取り組むことが基本である。そういった中で、「IT」を活用した取り組みで個人の健康づくりの活動をより楽しく、効果的に手助けすることを目的とする。

## II. 実施内容

### 1. 対象

宇和島市で生活する 18 歳以上の市民

### 2. 方法

健康スマートフォンアプリの開発・運用

### 3. 調査実施期間

2017 年 2 月 1 日～

### 4. アプリの主な内容

- ・歩数管理機能

本アプリのメインとなる機能。

毎日の歩数を自動で管理。歩数に応じてポイントを付与し、そのポイントは市内の協力店舗で使える商品券やクーポンと交換が可能。

- ・闘牛育成機能

本アプリ利用の継続を促す機能。

ポイントにより宇和島市名物の闘牛が成長していく機能。闘牛はタイプを 3 種類から選択可能。

- ・ランキング機能

本アプリのモチベーションアップを狙う機能。

獲得したポイントをランキングで表示。年間、月間での順位に切り替えることができる。

- ・おすすめウォーキングコース機能

本アプリを使ったウォーキングの促進機能。

宇和島市が推奨するウォーキングコースをマップを用いて紹介。

### 5. アプリ運用に際しての倫理的留意

アプリの運用には個人情報を取得するが、データの取り扱いに際しては、対象者のプライバシー保護に留意し、データ管理責任者を決めて一元的に管理を行った。

### 6. 分析方法

アプリ利用者に会員登録を要請し、「住所」「年齢」「性別」等のデータを取得した。また、アプリのインストール数や、アクティブユーザー数なども踏まえ、アプリが市民にどれだけ根付いたか、日ごろから使ってもらっているかを判断した。

## III. 結果

総ダウンロード数	15,137 人
アクティブユーザー数	6,320 人
アプリ会員数	6,765 人
ポイントカード会員数	446 人
60 代以上の利用率	27%

※2017 年 2 月 1 日～2019 年 9 月 30 日現在

宇和島市の人口と比較して、約 3 人に 1 人が本アプリをダウンロードしているといえ、約 7 人に 1 人が本アプリを普段から利用しているといえる結果になった。

アプリの会員数も 6,500 人を超えて、他事業への参考材料としても有効に使えるデータを収集できた。

さらに、60 代以上のアプリ利用率は想定をはるかに上回る 27% となり、中には本アプリを利用したいがために、スマートフォンを購入したという声もいただいた。身体の健康だけでなく、脳の健康にも一役買っているといえる。

## IV. 最後に

現在も取り組みは続いているが、利用者にとってより使いやすく、楽しいアプリになるように改修を重ねている。今後は、健康づくりの指標となる

「歩数」がユーザーによってどのように推移しているかを分析しながら、さらなる健康づくりの支援をしていきたい。